

01F070

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-233833

(43)Date of publication of application : 02.09.1998

(51)Int.Cl. H04M 1/57
H04Q 7/38
H04M 1/00

(21)Application number : 09-046894

(71)Applicant : KENWOOD CORP

(22)Date of filing : 17.02.1997

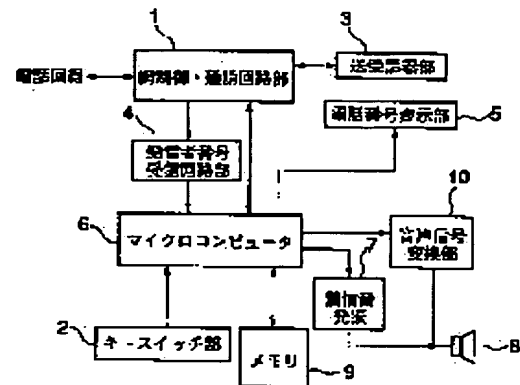
(72)Inventor : MAKITA TOMONORI

(54) PORTABLE TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the portable telephone set that also informs a caller name in voice at the arrival of an incoming call.

SOLUTION: A caller telephone number and caller name information in cross reference with the caller telephone number are stored in advance in a memory 9 and the caller name information corresponding to the caller telephone number to be received by referencing the received caller telephone number is retrieved from the memory 9. Based on the retrieved caller name information, a voice signal conversion section 10 converts the caller name into a voice signal and allows a speaker 8 to inform the caller name in voice.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-233833

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月2日

(51) Int.Cl.⁸ 識別記号

H 0 4 M 1/57

H 0 4 Q 7/38

H 0 4 M 1/00

F I

H 0 4 M 1/57

1/00

B

H 0 4 B 7/26

1 0 9 Q

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-46894

(22) 出願日 平成9年(1997) 2月17日

(71) 出願人 000003595

株式会社ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号

(72) 発明者 牧田 知記

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 株式
会社ケンウッド内

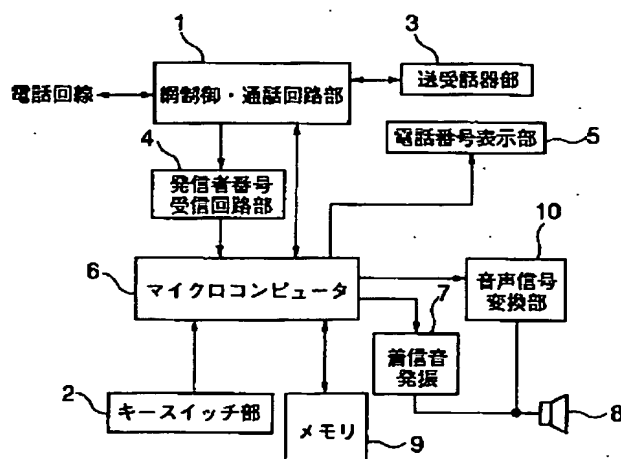
(74) 代理人 弁理士 砂子 信夫

(54) 【発明の名称】 携帯電話機

(57) 【要約】

【課題】 着信時に発信者名を音声によっても報知することができる携帯電話機を提供する。

【解決手段】 発信者電話番号と発信者電話番号に対応させた発信者名情報を予めメモリ9に記憶させておき、着信した発信者電話番号を参照して着信した発信者電話番号に対応する発信者名情報をメモリ9から検索し、検索された発信者名情報に基づく発信者名を音声信号変換部10にて音声信号に変換して、スピーカ8によって音声で発信者名を報知する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】発信者電話番号と発信者電話番号に対応させた発信者名情報を予め記憶させたメモリと、着信した発信者電話番号に対応する発信者名情報をメモリから検索する検索手段と、検索された発信者名情報に基づく発信者名を音声にて報知する報知手段とを備えたことを特徴とする携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、着信時に発信者の電話番号などを音声によって報知する携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の携帯電話機は図 3 に示すように、着信が検出されたときは着信音によって着信を報知し

(ステップ S 11)、発信者がアナログ回線を用いた電話機であるかデジタル回線を用いた電話機であるかを判別し(ステップ S 12)、デジタル回線を用いた電話機であると判別したときは発信者の電話番号を表示器に表示する(ステップ S 13)ように構成されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の携帯電話機においては、発信者の電話番号を携帯電話機の表示器に表示するのみであるため、表示を見なければ発信者の電話番号を知ることができず、さらに表示された電話番号を見ただけでは発信者が誰であるか直ちに連想することができない場合が多いという問題点があった。

【0004】本発明は、着信時に発信者名を音声によっても報知することができる携帯電話機を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明にかかる携帯電話機は、発信者電話番号と発信者電話番号に対応させた発信者名情報を予め記憶させたメモリと、着信した発信者電話番号に対応する発信者名情報をメモリから検索する検索手段と、検索された発信者名情報に基づく発信者名を音声にて報知する報知手段とを備えたことを特徴とする。

【0006】本発明にかかる携帯電話機によれば、着信があったとき発信者電話番号に基づき発信者電話番号に対応する発信者名情報がメモリから検索され、検索された発信者名情報に基づく発信者名が音声によって報知される。したがって、受信側にて電話してきた相手の名称が音声によって報知されて、電話番号表示を見ても名称が判らないという点が解消される。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる携帯電話機を実施の形態によって説明する。

【0008】図 1 は本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機の構成を示すブロック図である。

【0009】本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機は、NCU およびスピーチプロセッサからなる網制御回路・通話回路部 1、テンキースイッチとフックスイッチ等の機能指示スイッチを備えたキースイッチ部 2、送受話器部 3、発信者番号受信回路部 4、電話番号表示部 5、マイクロコンピュータ(CPU) 6、着信音発振部 7 およびスピーカ 8 を備えて、キースイッチ部 2 のフックスイッチをオフフック状態にして発呼が指示され、キースイッチ部 2 のテンキースイッチの操作によって相手側の電話番号が入力されると、マイクロコンピュータ 6 の制御のもとに、電話番号表示部 5 にダイヤルされた相手側の電話番号が表示され、網制御回路・通話回路部 1 が制御されて電話回線を介して相手側が呼び出され、呼び出された相手側と送受話器部 3 を介して通話することができるように構成されている。

【0010】また、着信のときは着信音発振部 7 が駆動されて、着信音発振部 7 からの出力によってスピーカ 8 が駆動されて着信音が鳴らされて着信が知らされる。同時に、発信者番号受信回路部 4 において発信者番号が受信され、マイクロコンピュータ 6 の制御のもとに電話番号表示部 5 に発信者の電話番号が表示される。ここで、キースイッチ部 2 のフックスイッチをオフフック状態にされると網制御回路・通話回路部 1 がマイクロコンピュータ 6 によって制御されて、電話回線を介して相手側と送受話器部 3 を介して通話することができるように構成されている。上記の構成は従来の携帯電話機と同様の構成である。

【0011】一方、本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機には、発信者電話番号と発信者電話番号に対応させた発信者名情報を予め記憶させたメモリ 9 と、メモリ 9 に記憶された発信者名情報を音声信号に変換する音声情報変換部 10 とを備え、着信時に着信した発信者電話番号と同一電話番号がメモリ 9 に格納されているかを検索して同一電話番号があるときは対応する発信者名情報をメモリ 9 から読み出して音声情報変換部 10 へ送出させ、音声情報変換部 10 において音声信号に変換し、変換された音声信号はスピーカ 8 に供給して音声として通知するように構成されている。

【0012】キースイッチ部 2 に設けられた発信者名登録指示スイッチが操作されると発信者名登録モードとされて、キースイッチ部 2 のテンキースイッチにて指示された電話番号と、続いて該電話番号に対応させた、送受話器部 3 のマイクロフォンから使用者の音声によって入力される発信者名称情報とが対応して、マイクロコンピュータ 6 の制御のもとにメモリ 9 に格納される。メモリ 9 に格納された電話番号情報および発信者名称情報はキースイッチ部 2 に設けられた発信者名消去指示スイッチの操作によって消去される。

【0013】上記のように構成された本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機の作用について説明する。

【0014】発呼の場合の作用については、従来の場合と同様であって、キースイッチ部2のフックスイッチがオフフック状態にされて発呼が指示され、テンキースイッチが操作されて相手側の電話番号が入力されると、マイクロコンピュータ6の制御のもとに、電話番号表示部5にダイヤルされた相手側の電話番号が表示され、網制御回路・通話回路部1が制御されて電話回線を介して相手側が呼び出され、呼び出された相手側と送受話器部3を介して通話ができる。

【0015】次に、着信の場合について説明する。図2に示すように、予めメモリ9に電話番号情報と該電話番号に対応させた発信者名称情報が格納されている(ステップS1)。未格納のときは上記した手法によって格納することができる。

【0016】着信があると着信音発振部7が駆動されて、着信音発振部7からの出力によってスピーカ8が駆動されて着信音が鳴らされて着信が知らされる(ステップS2)。同時に、発信者の使用電話回線がデジタル電話回線かアナログ電話回線か否かがチェックされ(ステップS3)、ステップS3においてデジタル電話回線であると判別されると、発信者番号受信回路部4において発信者番号が受信され、マイクロコンピュータ6の制御のもとに電話番号表示部5に発呼してきた発信者の電話番号が表示される(ステップS4)。

【0017】ステップS4に続いて、発信者の電話番号が参照されて受信した発信者電話番号と一致する電話番号がメモリ9内に格納されているか否かが検索される(ステップS5)。ステップS9における検索の結果、一致する電話番号が格納されていると判別されたときは一致する電話番号に対応して格納されている発信者名称情報が読み出されて、音声信号変換部10に供給されて、音声信号に変換されてスピーカ8から音声によって発信者名称が報知される。

【0018】ステップS3においてアナログ電話回線であると判別されたときはステップS4～S6はスキップされる。ステップS5において一致する電話番号が格納

されていないと判別されたときは、ステップS6はスキップされる。ステップS5において一致する電話番号が格納されていないと判別されたときは単に電話ですよとの報知を音声によって行うようにデフォルト情報を予めメモリ9に格納しておいて、電話ですよとの報知を音声によって行うようにしてもよい。

【0019】ついで、キースイッチ部2のフックスイッチをオフフック状態にすることによって受信できて、網制御回路・通話回路部1がマイクロコンピュータ6によって制御されて、電話回線を介して相手側と送受話器部3を介して通話をすることができる。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように本発明にかかる携帯電話機によれば、発信者名称が音声によって報知され、自動車に乗車しているとき等において、携帯電話機に電話がかかってきた場合に、誰からの電話であるかが、前方から目を離すことなく知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機の構成を示すブロック図である。

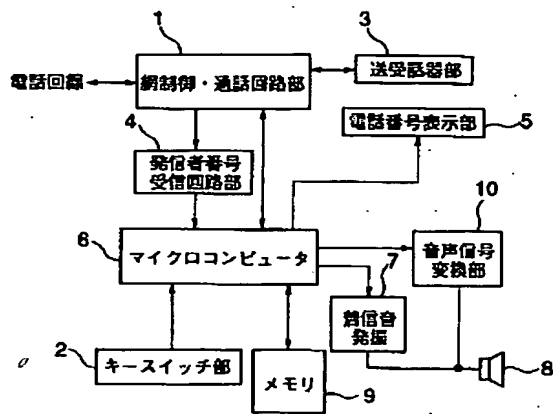
【図2】本発明の実施の一形態にかかる携帯電話機の作用の説明に供するフローチャートである。

【図3】従来の携帯電話機の作用の説明に供するフローチャートである。

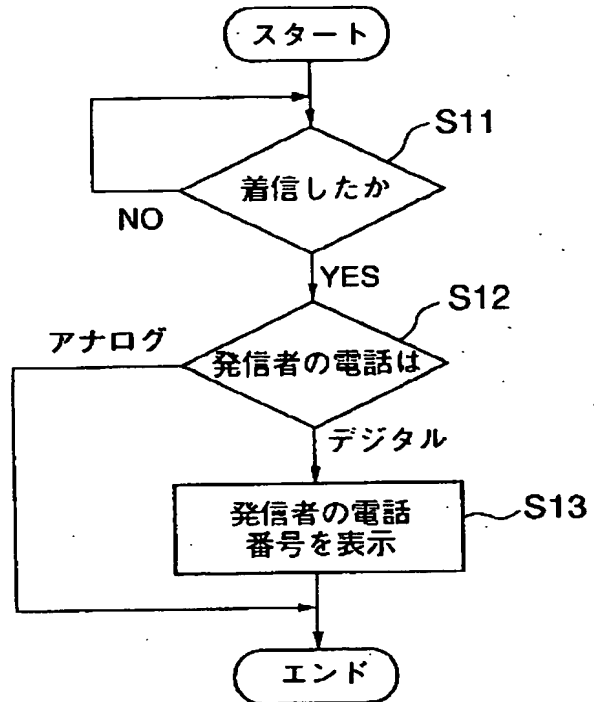
【符号の説明】

- 1 網制御回路・通話回路部
- 2 キースイッチ部
- 3 送受話器部
- 4 発信者番号受信回路部
- 5 電話番号表示部
- 6 マイクロコンピュータ
- 7 着信音発振部
- 8 スピーカ
- 9 メモリ
- 10 音声信号変換部

【図1】



【図3】



【図2】

